

みどりの大使 が行く!

岸田総理に緑の羽根つけ

4月15日から5月14日までの期間は、緑の募金の呼びかけを強化する「みどりの月間」です。4月14日、早速岸田総理に緑の羽根を贈り、緑の募金運動へのご協力をお願い致しました。



2023ミス日本みどりの大使

かみむら か
上村 さや香

総理との歓談では、まず私から大阪・関西万博の公式テーマソング「この地球の続きを」の一節を歌い、万博の舞台、夢洲でもパビリオンなどに木材が使われることを楽しみにしていますとお話しました。総理からは木材を利用した会場の完成予想図に、ワクワクし、大変楽しみにしているとお話がありました。また、総理は「私たち人と緑、森林はとても繋がりが深いものである」とおっしゃっていたことがとても印象的でした。

みどりの大使になり約3ヶ月、私も同じように感じるものがたくさんありました。緑豊かな日本、その土台には、戦後のはげ山と向き合い再生に向けて努力してくださった先人の皆様の想いがあることを知りました。緑の募金は森林整備や未来を担う子どもたちへの森林環境教育に利用されます。私も100年後の人々や日本のことを考え



やまの森づくり

られる人になりたいです。そして私は「森林の循環の大切さ」を伝えていきたいです。それには国産材の積極的な利用が必要です。今年は私の特技である作詞作曲や弾き語りを活かし、国産木材のギターとオリジナル作詞作曲で伝えていくのが目標です。

長野県にて国土緑化推進機構「緑の募金」中央事業「やまの森づくりプロジェクト」、2023年「国際森林デー」記念植樹祭に参加させていただきました。開会式では上田女子短期大学附属幼稚園の子どもたち、保護者の方により、地域で大切にされている

歌「風になれやマンバの木」の合唱があり、私は伴奏を担当しました。その後は、園児たちと一緒に記念植樹を行いました。私にとっては初めての植樹でした！みんなで力を合わせ、ヤマボウシ、ダンコウバイ、ナナカマドの3種類5本の苗木を植樹しました。また花が咲く頃に見に来たいです！

「緑の募金」中央事業である森林環境教育、木育の現場を初めて経験しました。こういった思い出を持った子どもたちがまた大人になって森に帰って来る。そうやって、みどりが次世代に受け継がれることを目指し、途絶えることのない緑豊かな日本を守っていきたいです。参加させてくださった皆様、本当にありがとうございました。